



自然素材で暮らしをデザイン

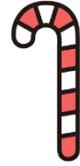
木だて家

手づくりでお届けする住まいの情報誌

しあわせ

2024.12 vol.155

〒915-0242 福井県越前市粟田部町 32-15-1



-地元の杉材を活かした住まいづくり-

会長 内田 隆陽



こんにちは、木だて家の製材担当を務める会長です。

今月のテーマは、「地元の木材を活かした家づくり」冬の訪れと共に、木の温もりがより一層心に染みる季節となりました。私たち木だて家は、近隣の山で育った杉の丸太を使い、家具やカウンター、建具材など、住まいの細部に自然の力を宿しています。

この地域ならではの気候と風土で生まれた杉の木は、強さと美しさを兼ね備えています。木の香りや肌触りはもちろん、その温もりは住む人々の心を安らげ、豊かな暮らしを育みます。

製材工程は、木目を活かしつつ、一つひとつ丁寧に加工し、長く愛される家づくりを目指します。

自然素材を用いた住まいは、家そのものが自然と共生する暮らしを実現します。ぜひモデルハウスで杉材の力強さと温もり、そして自然素材が生み出す心地よさを感じてみてください。

皆さまの暮らしが木の優しさに包まれ、冬の寒さを忘れるほど快適な日々となりますように。



福井市「桃園の家」完成 ✨

専務 山田 満志

涼しい秋風が吹き始め、季節の移ろいを感じる今日この頃。そんな秋の訪れとともに福井市「桃園のいえ」がついに完成しました。

この家は、静かな住宅街にある限られた敷地を最大限に活用し、居住空間を効率よくデザインした住まいです。明るく広々としたリビングは、家族が自然と集まる心地よい空間。一角には、造り付けの家具と収納を備えた小さなヌックスペースを設け、落ち着いて過ごせる癒しの空間になりました。

また、窓の配置や外構デザインにもこだわりが詰まっています。大きな窓からは心地よい光と風を取り込みつつ、視線をしっかりと配慮した設計で、プライバシーも確保。外からの視線を遮るフェンスや植栽を工夫することで、安心感のある暮らしを提供します。

キッチンには、背面収納やパントリーを備え家事効率を高める工夫も充実。さらに、壁紙やカーテン選びに至るまでお施主様のセンスが細部まで反映されています。2階の窓からは足羽山の四季折々の景色を楽しむことができ、春には桜、秋には紅葉が望めます。心地よい暮らしと自然との調和を感じられるこの住まいで、毎日の生活がより豊かに、そして楽しめる事でしょう。

家族が集う明るく広々としたLDK



静かな住宅街に佇む、落ち着いた感のある外観



造作家具と収納が生むすっきりとした空間美

越前町リノベーションの家 完成 ✨

主任 内田 裕之

越前町のリノベーションの家、4か月の旅を経て、まるで新しい人生を歩み始めたかのように輝いています。木だて家ならではの、無垢材基調の家へと大変身しました。

外壁も全て一新し、そとん壁仕上げの新築並みの仕上がりです。

無垢材の温かさが息づく室内。柔らかな間接照明が、優しく部屋全体を包みます。テレビの背面に施されたエコラットタイルは、洗練された大人の空間を演出。まるで、家族の個性がそのまま形になったような、心地よい住まいです。

リノベーションは単なる改装ではありません。家族の思い出を大切に、新しい日々を豊かに彩る魔法のようなプロジェクト。木だて家は、一つひとつの家に、特別な物語を刻んでいきます。

そとん壁の仕上げで新築並みの美しさに



木と光が奏でる、家族の居場所



優しい光が紡ぐ、心地よい住まい



木のぬくもりが広がる、新しい我が家





坂井市春江町にてあたらしい木だて家の家づくりが始まっています♪今回の住宅は子育て世代のご家族のための2階建てのおすまいです。

この土地は、西側の道路に面し、東西に細長い敷地形状を最大限に活かしながら計画されました。家族みんなが集まるLDKや個室は、南側に配置し、どの部屋もたっぷりと自然光を取り入れられる設計になっています。これからの寒い季節でも、暖かく心地よい日差しを楽しむことができる工夫が満載です。

リビングからは庭を眺められるレイアウトで、親子でお庭遊びを楽しむ姿も想像できます。リビング横には小上がりタイプの和室を設置。引き戸を開けるとリビングと一体化し、閉めれば独立した空間として利用可能。フレキシブルな空間設計が魅力的です。

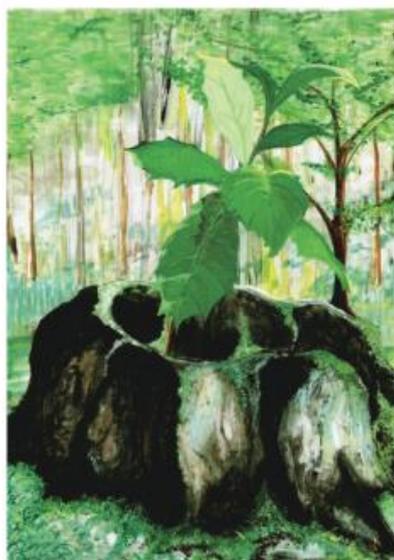
外観には、耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用。シャープで洗練されたデザイン性を持ちながらも、どこか温かみのある住まいとなる予定です。春江のいえの完成は来春を予定しています。完成後の住まいを見るのが待ち遠しいですね♪

🏠 全国育樹祭で感謝状 📍

経理 内田 美紀

この度、木だて家は第47回全国育樹祭において、福井県緑化功労者（地域活性化につながる森林資源の活用部門）として知事感謝状を拝受しました。10月にサンドーム福井で行われたこの式典は、私たちの長年の取り組みを評価いただく荣誉ある瞬間となりました。私たちの挑戦は建築することだけではなく、地域の森と人々をつなぐ架け橋となることです。県産材にこだわり、自社製材で家づくりを続けてきた歩み。さらに地域の皆様や未来を担う子どもたちと木の魅力を共有する木育イベントの開催。これらの取り組みが、認められた結果だと思っております。

しかし、弊社にとってこの感謝状は通過点にすぎません。むしろ地域活性化への新たな決意を示す、力強いスタートと捉えています。これからも森と共に、地域と共に、更なる挑戦を続けてまいります。



お手入れ行事

令和6年
10月19日(土)開催
一乗谷朝倉氏遺跡(福井市)

式典行事

令和6年
10月20日(日)開催
サンドーム福井(鯖江市・越前市)



公式HP



Instagram

主催 福井県・公益社団法人国土緑化推進機構

お問合せ先 第47回全国育樹祭福井県実行委員会事務局(福井県庁内)

〒910-8540 福井県鯖江市大町1-1-1 TEL: 0776-20-0720 FAX: 0776-20-0890

仕上げ工事



福井市「二上の平屋」

こちらは新築の仕上げ工事の施工写真になります！今回はクロス貼りに注目したいと思います。この見慣れない模様の正体はクロスを張る前に行うパテ処理によるものです。パテ処理とは壁の下地となる石膏ボードを張る際にできるビスの凹みや、ボードの継ぎ目を専用のパテを使って埋めていく作業になります。こうすることで平らな面を作りクロスを張りやすくするのです。一カ所ずつ丁寧に埋めていくことではがれにくく長持ちするクロス貼りになるのですね！

越前市「栗田部の家」

こちらは新築の内部造作工事の施工写真になります！今回注目するのは「引き込み戸」です。引き込み戸とは横に引いて扉を開けたときに壁の中に扉が隠せるスペースを確保した戸のことです。この壁の中に確保したスペースを「戸袋」といいます。

誰でも開けやすく見た目もすっきりとしており、扉近くに家具や家電を設置することもできるので非常に使い勝手が良い仕様になっています。皆様の住まいにもぜひ取り入れてみてはいかがでしょうかよ

内部造作



外部造作



越前市「栗田部の平屋」

こちらは新築の外部造作工事の施工写真になります！今回は窓まわりの裏側をお見せしたいと思います。この白いシートを「透湿防水シート」といいます。窓まわりだけでなく住宅の外回りすべてに貼るもので、雨風の侵入を防ぎつつ、そのため窓まわりは特に気を付けて施工しなければなりません。下から順にシートを重ねていき最後に防水テープで窓枠に貼り付けます。こうすることで万が一水が流れてきても入り込まないようにしているのです！